

指導展開例 クロームブック「スクールタクト」を活用した授業	小学校
	第4学年
	社会

1 実施のポイント

- ・自然災害への学習から得た知識を基に、災害において自分たちができることについて考えさせる。
- ・単元を通してスクールタクトでお互いの考えを比較したり、振り返りを重ねたりすることで、一人一人の防災に対する意識の高まりを視覚化していく。

2 教科・学年 社会 第4学年

3 単元名 「自然災害からくらしを守る」

4 授業の位置付け

本単元では、道内で起きた過去の災害を知り、そうした災害に地域の関係機関や人々が様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対して様々な備えをしていることを学習する。そして、学習したことを基に、こうした災害に向けて事前に自分たちにできる備えや、実際に災害が起きた時に安全に行動し、普段の暮らしと異なる状況で健康に過ごすために自分たちができることについて考える。

この学習を通して、自然災害に対して知識を深め、自らの安全を確保するための行動や日常的な備えについて考える力を養いたい。

5 単元の目標

- (1)地域の関係機関や人々は、自然災害に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対し、様々な備えをしていることを理解できるようにするとともに、聞き取り調査をしたり地図や年表などの資料で調べたりして、まとめることができるようにする。
- (2)過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などに着目して、災害から人々を守る活動を捉え、その働きを考え、表現することができるようにする。
- (3)自然災害から人々を守る活動について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習課題を追究し、解決しようとするとともに、学習したことを基に地域で起こり得る災害を想定し、日頃から必要な備えをするなど、自分たちにできることを考えようとする態度を養う。

6 単元構成

【1～2時間目】自分たちの住んでいる地域（北海道）で発生した自然災害について調べ、災害の現状や原因について理解を深める。

【3～7時間目】家庭（自助）や学校、身近な地域（共助）、市・道（公助）では、こうした災害に向けて様々な対策や備えを行っていることや、協力し合っていることについて学習する。

【8時間目・本時】これまでの学習を基に、更に日頃からできる備えや災害時の行動など、自分たちにできることについて考える。

【9時間目】自分や家庭（自助）にできる対策や備えについて、「マイ防災カード」に考えを表現し、自らが「選択・判断」し考えようとする意欲を高める。

7 本時の目標

国や役所などの公的機関による救助や援助（公助）だけでなく、自らも災害を想定して準備をしたり（自助）、地域で協力し合ったり（共助）する必要があることについて考える。

8 本時の展開（8/9）

	子どもの学習活動	教師のかかわり	
問いを生む場	<p>1 これまでの学習を振り返り、確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校には備蓄庫があったよ。 ・300食の食料や寝袋、毛布があったね。 ・非常用電話や太陽光発電もあった。 <p>大きな地震が発生！学校の準備で大じょうぶなのかな？</p> <p>○この地区に約17,000人住んでいることを提示。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・写真などを見せて前時までの学習を想起させる。 	<p>セルフチェック2 (意欲を持続させることのできる課題設定)</p> <p>地域の人口と備蓄されている量を比べ、足りていない事実を浮き彫りにする。</p>
考えをつなぐ場	<p>2. 解決するために、考えたことを、話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>災害発生後の対応</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ひなん所の大きさに合わせている。 ・足りない分は国や市が届ける。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・空いているひなん場所に行く。 ・自分も食料や毛布を持って出る。 ・コンビニで買う。 </div> </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">災害前からの準備も必要。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>緊急の食料や毛布の備蓄を計画的に増やす。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%; text-align: center;"> <p>災害発生前の対応</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>賞味期限や保管場所、準備にかかる料金を考えると、学校の備蓄には限界がある。</p> </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>学校にある備えで足りない分はどうしたらよいだらう。</p> </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>自宅の対応(自助)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自宅に食料や水を備蓄しておく。 ・持ち出す毛布を用意しておく。 ・すぐに持ち出せる準備をしておく。 </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・市の立場からの考え方(公助)と、住民の立場からの考え方(自助)を板書で整理し、両者の協力とともに、事前の準備が必要であることに気付けるようにする。 	<p>セルフチェック4 (協働して課題解決に向かえるようにする)</p> <p>スクールタクトで共同閲覧し、互いの考えの良さを認め、自分の考えを深める。</p>
検証・再考の場	<p>3. 学習したことを振り返る。</p> <p>○発寒東小の校区が、水害が起きるかもしれない地域であることを提示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の災害でも命を守るために、やっぱり準備しなければ。 ・何を備蓄するとよいか知りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールタクトで振り返ることで、自分の防災に関する意識の変化にも着目させる。 	<p>セルフチェック6 (学びの良さ・実感をもてる)</p> <p>スクールタクトで、振り返りをする。</p>

9 資料 (板書例)

